



こうざき 聡 夢からはじまる

<http://www.kouzakisatoshi.com>



県政報告

食と緑を守る緑友会福岡県議団

令和4年12月号

昭和37年9月20日生
平成23年4月福岡県議会議員初当選
平成27年4月二期目
平成31年4月三期目
添田町立添田小学校・添田中学校卒
福岡県立田川高等学校卒
日本大学商学部会計学科卒
麻生セメント株式会社入社・株式会社
麻生情報システム株式会社代表取締役
社長
福岡県農林水産副委員長、福岡県総務
企画地域振興委員長

福岡県文教常任委員会
国際化・多文化共生社会調査特別委員会
緑友会福岡県議団・副会長
福岡県議会議員 **神崎 聡**
年末年始を迎えるにあたり、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
9月定例会では、偶然にも9月20日の選歴の誕生日の日に、一般質問をすることになりました。議場でお祝いの大きな拍手を頂き、大変感激し、本當に有難い事だと感謝しています。
「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に夢なき者に成功なし。」
これは吉田松陰の言葉ですが、吉田松陰の生誕も9月20日であります。まさに「夢からはじまる」、常に明るく前向きに、多くの人たちに協力を得ながら、粘り強く、夢の実現のために頑張つて参ります。
令和5年4月には統一地方選挙を迎えます。相次ぐ自然災害による被災地の復旧・復興、さらに、国政の動向、県政の諸問題、地域の要望にしっかりと応えていかねばならないと肝に命じています。人口減少に歯止めがかからず、医療・福祉、介護問題、広域行政問題、小中学校統合や学力問題等々、課題山積の田川地域ですが、「着眼大局・着手小局」謙虚に誠実に、与えられた役割と責任を果たして参ります。皆様のさらなる、ご指導、ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



スマートフォンでも県議会録画中継

ブログ報告



動画報告



フェイスブック



フェイスブック
ページ



ツイッター



一、田川地域の雇用創出と関係人口の促進

《神崎聡県議員質問》

本日、9月20日が誕生日でして、晴れて還暦となりました。もう60歳なのか、まだ60歳なのか、これからの人生の歩み方は、心の持ち方ひとつで変わってくるのではないかと思っています。いずれにしても人生の大きな節目を迎えたのは間違いないと思います。誰しも、人生においての大きな節目、人生の岐路に、何度か立つことと思いますが、私の大きな転換点、人生の岐路は、何といても企業を辞め、政治家を志したことでありました。

私が政治家になって、目指したかったことは、家族団らんや笑いの絶えない、明るい家庭を地域の皆さんに創ってもらいたい。家族が一緒に暮らせる、或いは、身近な所で家族が暮らしていい、そんなささやかな幸せを実感できる地域社会、世の中を目指したいと思ったからであります。しかしながら実際には、若い人たちは、希望する職がなく、その職を求めて都会に出て行っております。そのため、田川地域はどんどん少子高齢社会が進みました。

昨日は敬老の日でしたが、県内高齢化率で東峰村に次いで添田町が高齢化率が44.7%で2位、20位以内には田川郡7カ町村すべてが入っています。

また人口では、私が初当選した平成23年4月には、田川市郡で133,713人いた人口が、本年4月には114,364人となり、この11年間で人口が、19,349人も激減してしまいました。1万人の町が2つもなくなってしまう計算になります。

(人)

	H23.4.1	R4.4.1	増減数
田川市	50,444	45,209	▲5,235
香春町	11,562	9,900	▲1,662
添田町	10,785	8,299	▲2,486
糸田町	9,554	8,100	▲1,454
川崎町	18,060	14,649	▲3,411
大任町	5,477	4,923	▲554
赤村	3,216	2,663	▲553
福智町	24,615	20,621	▲3,994
計	133,713	114,364	▲19,349

知事、私はこの現状、こうした事態に、非常に危機感を持っております。極めて厳しい現実を突きつけられた想いであります。このままでは、過疎地域はますます疲弊していきます。何とかしてほしい。いや、何とかせないかん。この現状を何とかして打破しなくてはならないという想いは、知事も一緒だと思います。

県では今年度、令和4年度から令和8年度の5年間の「福岡県総合計画」を策定しました。この総合計画では、「誰もが安心して、たくさん笑顔を暮らせる福岡県」を目指す姿に掲げ、その実現のため、「世界を視野に、未来を見据えて成長し、発展する」、「誰もが住み慣れたところで働き、長く元気に暮らし、子どもを安心して産み育てることができ」、「感染症や災害に負けない強靱な社会をつくる」、「将来の発展を支える基盤をつくる」の4つの基本方向のもと、施策を総合的に展開することとしています。

まさに田川地域が抱えている様々な課題を解決するための方向性はここにあり、私たちも総合計画が着実に実現でき、県内くまなく、幸せが実感できるように努力しなければならぬと考えます。

そこで知事にお尋ね致します。あらゆる分野で様々な課題を抱えている田川地域ですが、何といたっても若い人たちの雇用の場をどう創出していかにかかっていると考えます。これまでも議会でも提案や質問をしてきました。

私は、県立大学との産学連携による新しい産業の創出、研究機関・研究施設の誘致、福祉器具の開発・製造・販売や、ワンヘルス社会を見据えた治験研究センター設置など、福祉・医療・健康産業を田川に集積させることによる雇用創出も大きな可能性があるのではないかと考えます。

そのためには、地域のリーダーとなる人材の養成が欠かせません。異業種交流や産学官金による定期的なニーズとシーズのマッチングビジネス、起業家支援、案件創出を早急に立ち上げ、県として積極的に関わっていく必要があると考えます。田川地域における新産業の創出、既存産業の活性化、企業誘致など、雇用創出に県としてどのように取り組んでいくのかお尋ね致します。

《服部誠太郎知事答弁》

県としては、国道201号飯塚庄内田川バイパスや国道322号香春大任バイパスなどの道路をはじめ、白鳥工業団地、田川工業用水道、学校等の遊休不動産などのインフラを活かした企業誘致を進めている。これまで、県立田川商業高校の校舎を含めた跡地を活用しためんべい添田工場を誘致したほか、令和となってから、自動車部品のプレス加工会社ユニテクノなど3社を誘致している。

また、福岡県立大学等と連携して医療福祉関連機器分野に参入する企業への支援などに取り組んでおり、今後この分野におけるさらなる集積を目指してまいります。

農業では、盆地特有の寒暖差を活かした美味しい米づくりに加え、トルコギキョウや小松菜といった園芸品目の産地化を進めてきた。

近年では、水田をフル活用するため、スマート農業機械の導入を支援し、麦や大豆の生産拡大と品質向上に取り組むとともに、夏秋ナスや花のケイトウといった新たな品目の産地づくりにも取り組んでいるところである。

さらに、一流のフレンチが堪能できる平成筑豊鉄道の「ことごと列車」の運行や豊峰英彦山を活用した海外の映画やドラマのロケーション誘致、観光拠点としての英彦山宿坊跡の再整備など創意工夫をこらした新たな取組も進めている。

今後とも、田川地域の持つ特性や資源を活かし、市町村と連携して、産業振興を図り、雇用の創出につなげてまいります。

《神崎聡県議員質問》

県は市町村と一体となって、田川地域における観光振興による交流人口や、移住政策による定住人口の増加などの地域再生に向けた施策を取り続けてきましたが、田川地域の人口は激減し、人口減少に歯止めがかかりません。

しかしながら地域振興はまったなしであり、ますます人口減少化の中でも、地域が元気になる施策を図らねばなりません。私は、地域活性化の起爆剤となる関係人口の促進に取り組んでいく必要があると考えます。地域リーダーの育成を図る上でも、この関係人口の促進は大変意義ある取り組みになります。

関係人口とは、観光にきた「交流人口」でもなく、移住した「定住人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指します。「友達以上、恋人未満」という言い方に例えるならば、「交流以上、定住未満」の存在であると言えます。

関係人口は、「地域に継続的に関わる地域外の人」であり、交流人口でもなく定住人口でもない第三の人口として考えても良いのではないかと考えます。

田川の再生を考える上でネックとなっているのはやはり人です。地域のプレイヤーとして活躍する地域リーダーに他なりません。つまり、解決に立ち向かう地域再生の担い手がなかなか生まれてこない。このことが最大の壁なんだと考えます。

私は企業時代に、新産業の創出や企業誘致に積極的に関り、実績も成果も挙げてきました。もちろん、行政の大きな後押しがあったからであります。それ以上に大きかったことは、全国の仲間たちが私の地域に関わってくれたことでした。

地域活性化には、「よそ者、若者、バカ者」が必要だと言われますが、それは既成概念にとらわれない発想力や行動力、データに基づく分析力を持っているからなのではないかと思えます。

大事なことは、その「よそ者、若者、バカ者」が起爆剤となり、地域の人たちが変わっていくことにあります。地域住民が、サビピスを受ける側ではなく、自ら企画し、主体的に担っていくという意識改革が何より大切なんです。





定住人口にはなりません、この「よそ者、若者、バカ者」が関係人口として積極的に関わることで、課題解決に立ち向かう地域の担い手を増やしていくことが今、過疎地域に必要なのではないだろうか。

もう一つ、人口減少社会で、関係人口を増やすことがなぜ重要かと申しますと、全国の自治体は定住人口を増やそうと移住政策に力を入れています。しかし、全体のバイが減る中で移住者を奪い合うことは、どこかの自治体は増えてもどこかの自治体は減るという「ゼロサム問題」が懸念されます。それに対し、複数の関係地域を選べる関係人口は、自治体間で奪い合うのではなく逆にシェアする考え方で、人口減少社会に適している政策と言えます。

そこで知事に、関係人口に対する認識と、田川地域における関係人口を増やすため、地元自治体や産業界、県立大学などどう働きかけをし、県としてどのような施策を実施していくかと考えているのか、今後の取り組みをお尋ねして致します。知事、事態は極めて深刻です。本日の質問は、「田川地域の雇用創出と関係人口の促進について」でありましたが、考えられるあらゆる政策を総動員させ、かつスピードを加速させて実行していくことを強く要望して質問を終わります。ご清聴ありがとうございます。

《服部誠太郎知事答弁》

関係人口とは、地域外に居住しながら、地域の人々と継続的に多様な関わりを持っている方々のことであり、地域振興を図る上で大変重要な存在であると考えています。

特に、若者の流出、高齢化が進む地域においては、地域外の方々がい手として地域に積極的に関わることで、多様な視点や力が加わり、地域が活性化すると認識している。

これまで、県としては、関係人口の創出・拡大を図るため、「ふくおかファンクラブ」を設立し、令和3年度末で、県内外の約21,000人の方に登録いただき、地域の体験イベントやお祭りなどの情報を提供してきた。

今後は、会員になっていただいた方々に、地域との結びつきをさらに強めていただくため、これまでのイベント情報の発信に加え、例えば、田川地域におけるまちづくりの参画やお祭りの担い手としての参加など、市町村が地域外の方に関わってもらいたい役割についても発信し、実践につなげてまいります。

また、田川地域の市町村や経済界、福岡県立大学なども交えた「ふくおかファンクラブ」会員交流会を開催し、地域外の方と地域との深いつながりを築く機会を作ってまいります。

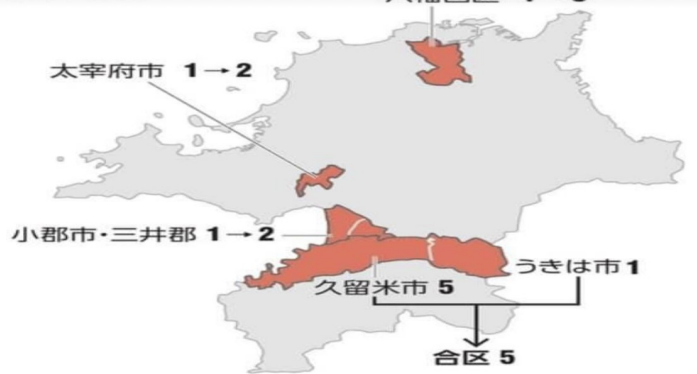
さらに、オンラインゲーム「マインクラフト」を活用した仮想空間「福岡ワールド」を作り上げるコンテストの課題に田川地域の「二本煙突・伊田堅坑槽」を挙げるなど、地域内外の方に、幅広く田川地域への関心を高めていただくような取組を進めている。

そのほか、田川市では、パラリンピックの事前キャンプで使用されたトレーラーハウスを活用したスポーツ合宿の誘致にも取り組んでいる。

市町村と連携しながら、このような取組を推進し、関係人口の拡大・深化を図ってまいります。

県議会の区割りや定数の変更

数字は定数



議員定数等に関する新旧対照表

	改正前	改正後
県人口	令和2年国勢調査人口 5,135,214人	令和2年国勢調査人口 5,135,214人
議員定数	87人	87人
議員1人当たりの人口	59,025.(448)人	59,025.(448)人
選挙区数	45選挙区	44選挙区
新たな強制合区対象市	うきは市	なし
最大較差	3.0002倍 博多区／うきは市	2.368倍 博多区／嘉麻市
逆転現象	2選挙区3通り 八幡西区249,933人:定数4 博多区252,034人:定数3 田川郡71,755人:定数2 小郡市・三井郡73,164人:定数1 大宰府市73,164人:定数1	なし

議員定数並びに選挙区割りが可決・成立されました。 (令和4年9月29日)

令和2年の国勢調査人口及び公職選挙法第15条各項の規定等を踏まえ、様々な観点から検討してきました条例の一部を改正する条例の制定が9月29日に可決されました。

来春の県議選より

- ・「うきは市」選挙区（現定数1）を「久留米市」選挙区（現定数5）に合区し、新定数5（1減）とする。
- ・「北九州市八幡西区」（現定数4）を新定数3（1減）にする。
- ・「小郡市・三井郡」（現定数1）を新定数2（1増）にする。
- ・「大宰府市」（現定数1）を新定数2（1増）にする。

選挙区数は45から44となり、県全体の議員定数は87を維持することとなりました。

公職選挙法は、選挙区の人口が県全体の人口を県議会の総定数で割った数の半数以上となるような区割りとするを定めています。「うきは市」は、2020年の国勢調査でこの条件を満たさず、久留米市と合区になりました。また、定数4の北九州市八幡西区より人口の多い定数3の博多区では、八幡西区を1減することで逆転現象を解消し、逆に定数2の田川郡より人口が多くなった小郡市・三井郡と大宰府市のいずれも定数1を1増することで逆転現象を解消することになりました。

実は条例案は6月定例会から検討されていて、以下のような基本方針でした。

- ・総定数は極力増やさない。
- ・較差は最大2.5倍以下を目標とする。
- ・過疎地域へ配慮する。（具体的には北九州市若松区、八女市・八女郡、朝倉市・朝倉郡、田川郡の4選挙区）
- ・逆転現象は解消する。

条例改正の成立により来春の福岡県議会議員選挙から適用されることとなります。

県執行部と県議会は車の両輪！県政の発展、地域の振興、県民福祉の向上に尽力してまいります。

【服部誠太郎知事】

今、私たちは、新型コロナのパンデミック、人口減少・少子高齢化、急速に進むデジタル化やDXの動き、世界的なカーボンニュートラルの潮流といった大きな変化に直面しています。

また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、原油価格や物価が高騰し、県民生活や企業活動が大きな影響を受けています。

これに緊急に対応するため、県では6月と9月に補正予算を編成し、議会で議決いただきました。物価高騰などに直面する生活困窮者の支援や事業者および生産者の事業継続を支援するとともに、社会経済情勢のさまざまな変化に対し、柔軟に対応できる経済構造を作っていくため、事業者の生産性向上など、明日につながる取り組みを支援していきます。目まぐるしく変化する社会情勢の中で、世界を視野に、未来を見据えて、成長・発展の歩みを力強く進めていかねばなりません。

このため、幅広い県政の中でも特に「次代を担う『人財』の育成」、「世界から選ばれる福岡県の実現」、「成長産業の創出」、「ワンヘルスの推進」の4つのチャレンジに取り組みます。同時に、地方創生の基本である住み慣れたところで「働く」、長く元気に「暮らす」、お子さんを安心して「育てる」ことができる、全ての人の人権を守り、ジェンダー平等の地域社会づくりを進め、大人も子どもも、誰もが安心してたくさんの笑顔で暮らしていける福岡県にしたいです。

県民の皆さまをど真ん中に置き、県民の皆さまと手を携えて、福岡県の未来へと続く扉を1つずつ開いていき、福岡県を九州のリーダー県たるにふさわしい県に飛躍、発展させていきます。

【神崎聡県議】

私は福岡県総合計画審議会委員として、令和4年（2022年）～令和8年（2026年）の総合計画の策定に尽力してまいりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大、人口減少・少子高齢化の進行、デジタル化・脱炭素社会への対応、グローバル化の進展、頻発化・激甚化する自然災害など、私たちを取り巻く状況は大きく変化しています。

このような中、福岡県を元気に飛躍させ、日本の発展を支えていくためには、世界を視野に置き、未来を見据えて目指すべき福岡県の姿を明らかにし、施策の方向を示していく必要があります。

そこで、本県では、これからの県政を計画的に、そして着実に進めていくための指針として、「総合計画」を策定されました。

計画の目指す姿を実現するために、県民の皆さまはもちろんのこと、県議会、市町村、そして商工、労働、農林水産業、医療、福祉をはじめとする様々な地域の関係者や団体の皆さまと連携・協力しながら県政運営を行っていかねばなりません。

私の地元である田川圏域は、炭鉱の閉山以降、人口流出が進んでいます。現在も、20代の若い世代をはじめ幅広い年齢層で転出超過となっており、魅力ある雇用の場の創出をはじめ、子育てや教育環境の充実による転出抑制・転入促進を図ることが大きな課題です。

また、高齢化率が県内で最も高いことから、健康づくりや地域包括ケアの推進が重要となっています。加えて、圏域内に広く分布する鉄道網を活用した公共交通網の充実を図るほか、一部地域に偏っている観光振興の取組を圏域全体に広げていくことも重要となっています。



略歴

昭和53年	浜田町立浜田中学校卒業
昭和56年	福岡県立田川高等学校卒業
昭和60年	日本大学商学部会計学科卒業
昭和60年	麻生セメント株式会社入社
平成2年	株式会社麻生情報システム転籍（分社化）
平成12年	株式会社麻生情報システム 取締役
平成13年	株式会社麻生情報システム 代表取締役
平成23年	福岡県議選（田川郡区） 初当選
平成27年	福岡県議選（田川郡区） 2期目当選
平成31年	福岡県議選（田川郡区） 3期目当選

福岡県議会で主な所属

- 親友会福岡県団 幹事長
- 県文書常任委員会 委員
- 県国際化・多文化共生社会調査特別委員会 委員
- 福岡県総合計画審議会 委員
- 福岡県タイ友好議員連盟 副会長
- 福岡県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 副会長
- 福岡県日韓友好議員連盟
- 福岡県日米友好議員連盟
- 福岡県日中友好議員連盟
- 福岡県国際交流推進議員連盟
- 福岡県ベトナム友好議員連盟
- 福岡県台湾友好議員連盟
- 福岡県防衛議員連盟
- 福岡県果樹振興議員連盟
- 産地地域活性化対策福岡県議員連盟
- オイスカ国際活動促進福岡県議員連盟
- 福岡県観光産業振興議員連盟
- 福岡県文化議員連盟
- 福岡県スポーツ議員連盟
- 九州・沖縄未来創造会議
- 九州の自立を考える会
- 日本会議福岡支部 幹事
- 田川直方バイパス延伸推進期成会 顧問
- 田川広域観光協会 理事
- 北九州下関道路整備促進福岡県議員連盟
- J R日田彦山線復旧PT協議会 委員

こうざき聡事務所

〒824-0602 田川郡添田町大字添田1417
TEL: 0947-82-5559 FAX: 0947-82-5533
こうざき聡 ホームページ こうざきさとし 検索



■令和4年9月

- 9月1日 国際化多文化共生社会調査特別委員会
- 9月2日 議員総会・政策審議会
- 9月5日 東京出張（衆議院議員会館他）
- 9月7日 議員総会・政策審議会
- 9月8日 福岡県スポーツ議連
- 9月9日～10月14日 9月定例会
- 9月9日 筑豊地区商工会と地元県議との懇談会
- 9月10日 福岡県立高校体育祭
- 9月12日～14日 政策審議会
- 9月13日 福岡県防衛議連講演会
- 9月15日 6月 代表質問
- 9月20日～22日 一般質問（神崎聡）
- 9月20日 福岡県タイ友好議員連盟
- 9月22日 福岡県森林・林業・林産業活性化議連
- 9月22日 決算特別委員会
- 9月22日 J Aグループ福岡から要請・意見交換
- 9月22日 田川青年会議所60周年記念式典
- 9月26日～28日 文教常任委員会
- 9月28日 福岡第72代福岡県議長就任祝賀会
- 9月29日 医療情報に関する調査活動
- 9月29日 本会議早期議決

本会議場での質問と知事答弁、ざつくばらんな意見交換や懇談・懇親の場、3期12年が経ち、知事、副知事とも長いお付き合いとなりました。でも企業時代からの仕事やプライベートのお付き合いですので、もう既に20年以上の関係となりました。【服部誠太郎知事よりのメッセージです】

神崎聡先生は、3期12年にわたり県議会議員を務められ、この間、総務企画地域振興委員など数々の要職を歴任され、現在は、緑友会福岡県議団の副会長として、福岡県の発展を力強く支えていただいております。

県では、これまで新型コロナウイルス対策を中心に、幾度となく補正予算を編成していますが、先生には、財政を所管する総務企画地域振興委員長として、これらの対策を迅速かつ的確に進めるため、御尽力をいただきました。

また、「九州の自立を考える会」においては、JR日田彦山線の復旧に係る協議会の委員として「日田彦山線沿線地域振興基本構想」の策定に御尽力され、県では、この構想をもとに県計画を策定し、BRT開業に向けた取組や英彦山を核とした観光資源の開発など、沿線地域の振興に取り組んでいるところです。

田川郡、福岡県の発展と県民福祉の向上のため、神崎先生の益々の御活躍を心から祈念しております。

福岡県知事 服部誠太郎



9月30日～10月12日 決算特別委員会

■令和4年10月

- 10月1日 地元行政清掃活動
- 10月3日 福岡県立大学と歩む会
- 10月4日 被災現地視察
- 10月4日 飯塚農林事務所
- 10月8日 福岡県立高校体育大会
- 10月12日 九州の自立を考える会総会・セミナー
- 10月12日 福岡県スポーツ議連
- 10月13日 J A福岡青年部意見交換会・懇談会
- 10月14日 福岡県林活議連連絡会総会林政セミナー
- 10月17日 福岡県スポーツ議連
- 10月19日 上田川・下田川「おたけ」合同例会
- 10月22日 福岡県立田川高等学校協同窓会総会
- 10月24日 主要地方道八女香春線国道昇格期成会
- 10月25日 柏木商店会
- 10月26日～30日 福岡県タイ友好議員連盟視察
- 令和4年11月
- 11月1日 文教常任委員会・管内視察
- 11月5日 第11回日中交流水墨画公募展表彰式
- 11月7日 政策審議会

- 11月9日 福岡県総合計画審議会
- 11月11日 田川地区暴力団等追放総決起大会
- 11月12日 13日 がん医師会連合（F A V A）大会・福岡県農林水産まつり
- 11月20日 教育問題に関する調査活動
- 11月22日 県政報告会
- 11月24日 代表者会議・議員総会・政策審議会
- 11月24日 県議会ハラスメント研修会
- 11月25日 国際化多文化共生社会調査特別委員会
- 11月29日 田川地区歳末防犯防災運動
- 令和4年12月
- 12月1日～20日 12月定例会
- 12月2日 在福岡タイ王国総領事館主催「サナデー」
- 12月3日 行政区グランドゴルフ大会
- 12月3日 県政報告会
- 12月4日 参議院議員大塚敬一郎政経フォーラム
- 12月7日 代表質問
- 12月9日～13日 一般質問
- 12月14日 16日 文教常任委員会
- 12月15日 防衛関係団体名刺交換懇談会
- 12月17日 第30回ふくおか県民文化祭記念式典
- 12月18日 糸田アリーナ落成式